




Numark

TT250 USB

ユーザーガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクターが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] <http://numark.jp/>

Numark <お問い合わせ>

inMusic Japan株式会社

カスタマー・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

オーク南麻布ビルディング6階

TEL : 03-6277-2231 FAX : 03-6277-0025

ユーザーガイド

はじめに

同梱品

- ・ TT250USB
- ・ プラッター
- ・ スリップマット
- ・ カウンターウェイト
- ・ カートリッジ
- ・ 45 回転用アダプター
- ・ USB ケーブル
- ・ ダストカバー
- ・ ダストカバーヒンジ
- ・ Software Download Card (英文)
- ・ User Guide (英文)
- ・ Safety & Warranty Manual (英文)

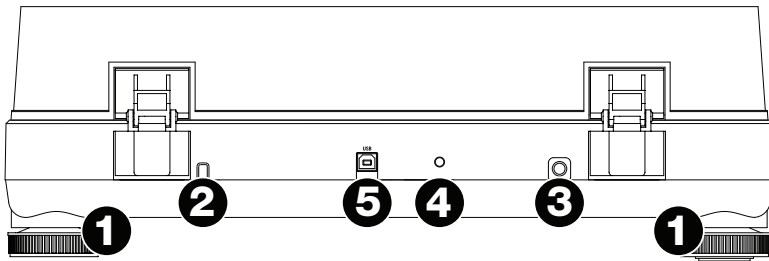
サポート

本製品の最新情報(システム要件、互換情報など)は、Numark のウェブサイト numark.jp にてご確認ください。

また、修理などサポートに関するお問い合わせにつきましては、numark.jp/support/ でご確認ください。

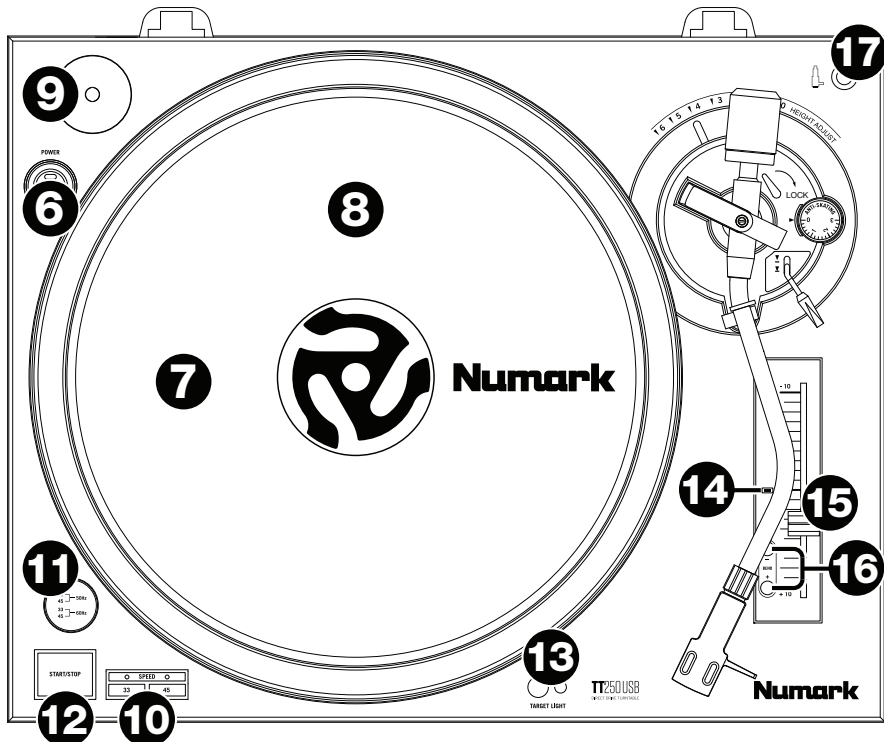
機能

リアパネル



1. **脚**：TT250USB の高さを微調整する場合に、この4つの脚を回して調整します。
2. **RCA オーディオ出力ケーブル**：この直付のオーディオケーブルを、お手持ちのミキサー、コンパなどに接続します。この出力はラインレベルですので、必ずライン入力端子に接続してください。PHONO 端子には接続しないでください。機器が故障する可能性があります。
3. **電源ケーブル**：このケーブルをコンセントに接続します。
4. **リモートスタート入力端子**：3.5mm ミニフォン端子ケーブルを使用して、ミキサーのフェーダースタート出力端子と接続します。ミキサーのクロスフェーダーの動きに合わせて TT250USB のプラッターが回転を始めます。
5. **USB 端子**：付属の USB ケーブルを使用して、お手持ちのコンピューターと接続します。コンピューターのサウンドの入出力の設定が正しく行われていれば、TT250USB のオーディオ出力を、コンピューターに接続されているスピーカーで聴くことができます。

トップパネル



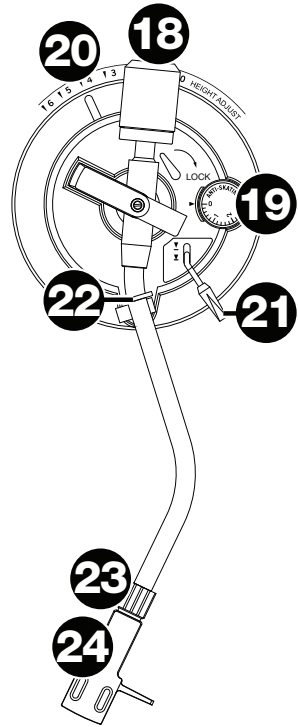
6. **POWER スイッチ**：このスイッチで TT250USB の電源のオン・オフを切り替えます。電源がオンの場合、スイッチ外周の LED が点灯します。
7. **電圧セレクター**：プラッターの下にあるこのスイッチで、お使いの国の電圧に合わせてスイッチを切り替えます。日本の場合は、115V を選択します。
8. **プラッター**：使用する前にプラッターをターンテーブルモーターに適切に設置する必要があります。詳しくは、**セットアップ>プラッター**の項目をご参照ください。
9. **45 回転用アダプター**：45 回転用アダプターを使用しない場合は、ここに置いておきます。
10. **33/45 切り替えボタン**：再生するレコード盤の回転数に合わせて、ボタンを切り替えます。選択しているボタンが点灯します。
11. **ストロボライト**：プラッターの縁を照らし、プラッターの回転数を確認するためのライトです。プラッターが正しく回転している場合、緑の●印の列のひとつが止まって見えます。お住いの地域の電源が 50Hz の場合は、33 回転のときには上から 1 列目の●印が、45 回転のときには 2 列目の●印が、60Hz の場合は、33 回転のときには上から 3 列目の●印が、45 回転のときには 4 列目の●印が、それぞれ止まって見えます。
12. **START/STOP ボタン**：このボタンで、ターンテーブルのモーターのスタートとストップを切り替えます。もしこのボタンが作動しない場合、プラッターが正しく設置されているかを確認してください（詳しくは、**セットアップ>プラッター**の項目をご参照ください）。
13. **ターゲットライト**：このライトで、レコード盤面のラベルなどを照らします。点灯させるには、ライトの隣の小さなボタンを押します。ライトを消すには、ライトそのものをパネルに押し込みます。

14. **ピッチライト**：ピッチスライダーが **0%** にあるときに点灯します。
15. **ピッチフェーダー**：このフェーダーを動かして、再生スピードを調整します。調整幅は **±10%** で、中央が **0%** になります。
16. **ピッチベンド-/+**：これらのボタンを押して、一時的に再生スピードを速めたり遅くしたりすることができます。但し、ピッチフェーダーが既に **+10%**、または **-10%** の位置にある場合に、このボタンを操作してさらに速く（または遅く）しようとしてもピッチに反映されません。
17. **カートリッジ・ホルダー**：TT250USB を持ち運ぶときなどに、カートリッジをここに差しておきます。

トーンアーム

詳しくは、**セットアップ>トーンアーム**の項目をご参照ください。

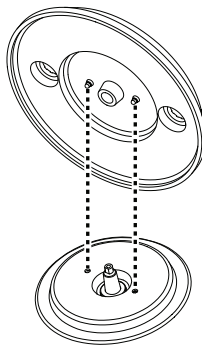
18. **カウンターウェイトとスケールリング**：カウンターウェイトはレコード針に適切な圧力がかかるように、ヘッドシェルとカートリッジのバランスを調整するものです。
19. **アンチスケート・ダイヤル**：このダイヤルを使用して、レコード針がレコード盤の中心に近づいたときに発生する内向きの力を補正します。殆どの場合、**0** に設定して問題ありません。バックキューやスクラッチ中に、レコード盤の中心に近づくほど針飛びが頻繁に起こるような場合は、このダイヤルの設定を少しずつ上げて、適切な値を見つけてください。
20. **高さ調整**：このレバーでトーンアームの高さを調整します。アンチスケート・ダイヤルの上にある小さな**ロックレバー**を回すことで高さ調整をロックすることができます。詳しくは、**セットアップ>トーンアーム**の項目をご参照ください。
21. **トーンアーム・レバー**：このレバーでトーンアームの昇降操作を行います。
22. **アームクリップ**：移動中や使用していないときにトーンアームをここに載せこのクリップで固定します。
23. **トーンアーム・ロックナット**：このロックナットを回して、ヘッドシェルをトーンアームに固定したり、また緩めたりします。
24. **カートリッジとヘッドシェル**：カートリッジはご購入時に既にヘッドシェルに取り付けられています。TT250USB を使用する前に、白いプラスチック製の針カバーを外してください。TT250USB は、市販されている（ほとんどの）ヘッドシェルやカートリッジに交換してお使いいただけます。



セットアップ

プラッター

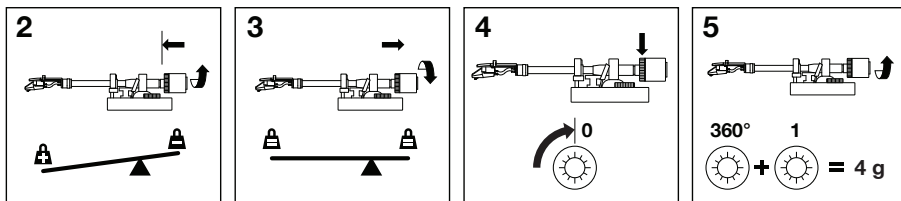
プラッターの裏面にあるふたつのピンを、モーターの穴に合わせてゆっくと下ろし、軽く押して固定します。ぐらつかず、正しく固定されていることを確認してから、スリップマットをプラッターの上に置きます。



重要：

- プラッターが正しく設置されていないと、ターンテーブルの性能が低下したり、プラッターが不安定になったり、モーターが破損する可能性があります。ご注意ください。
- スリップマットは必ず使用してください。スリップマットを使用せずにプラッターに直接レコード盤を置いた場合、レコード盤やターンテーブルが破損する可能性があります。ご注意ください。

トーンアーム



重要：付属のカートリッジ以外をお使いの場合、適した針圧やトーンアームの高さなどは、お使いのカートリッジの説明書等をご確認ください。

1. トーンアームにカートリッジが取り付けられているか確認してください。トーンアーム・ロックナットを時計回りに回すとヘッドシェルが緩み、反時計回りに回すと固定されます。ロックナットは締め過ぎないでください。ターンテーブルを使用する前に、白いプラスチック製の針カバーを外してください。
2. カウンターウェイトを、スケールリングを手間に向けた状態で、完全に前方に出るまで時計回りに回してください。
注意：カートリッジへの圧力は最大値 になっています。
3. この時点でヘッドシェルを上下させると、重さや抵抗感を感じると思いますが、カウンターウェイトを重さや抵抗感が感じられなくなるまで時計回りに回してください。この動作を正確にすると、バランスが取れ、アームは少しの抵抗で前後に旋回するようになります。この時、レコード針への圧力は **0** グラムになっています。
4. バランスが取れた状態になりましたら、カウンターウェイトの**スケールリング**をつかみ、「**0**」が垂直の位置にくるまで回転させてください。
5. 最後にカウンターウェイト（とスケールリング）をカートリッジの説明書等においてある、適正針圧になるまで反時計回りに回します。スケールがゼロの場所から **360°**回転した時点で、**3g**の針圧がかかっています。**3g**以上にする場合は、カウンターウェイト（とスケールリング）を **360°**以上回転させスケールリングの目盛りに **3** を足して計算します。
6. **アンチスケート・ダイヤル**の上にある小さな**ロックレバー**を反時計回りに押して、トーンアームの高さ調整を解除します。カートリッジの針をレコードの上に置き、**高さ調整のレバー**を動かしてレコード盤面とトーンアームが平行になるように設定します。ロックレバーを時計方向に押すと、トーンアームの高さがロックされます。

付録

技術仕様

【トーンアーム】

タイプ：	4ベアリング構造 S 字型トーンアーム
アーム高さ調整範囲：	0～6mm
キューシステム：	昇降レバー、アーム・レスト&クリップ
カウンターウェイト：	115g (0.0～3.0g スケール)
有効長：	230mm
オーバーハング：	15.2mm
オフセットアングル：	22°
垂直摩擦：	7mg

【メカニズム】

モーター：	クォーツ・ダイレクトドライブ
プлатター：	アルミダイキャスト、直径 332mm、740g
回転数：	33-1/3、45 rpm
ピッチ調整範囲：	±10%
ランブル：	-40dB (IEC 98A Unweighted)、-55dB (IEC 98A Weighted)
ワウフラッター：	< 0.09%
起動トルク：	2.0kg/cm
コンスタント・トルク：	1.2kg/cm
起動特性：	< 0.7 秒
ブレーキシステム：	電子ブレーキ

【一般】

消費電力：	15W
サイズ：	約 450 x 152 x 352mm (W x H x D)
重量：	約 7.5kg

仕様は断りなく変更になる場合がございます。

商標およびライセンス

Numark は、inMusic Brands, Inc., の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

その他すべての会社名、製品名は、それぞれの所有者にの商標または登録商標です。

numark.jp